2022 レスリング世界選手権はセルビア共和国（ベオグラード）において令和４年９月 10 日から 18 日までの９日間開催された。自衛隊体育学校からはフリースタイル 74kg 級に高谷大地２等陸尉、同 125kg 級に山本泰輝２等陸曹、グレコローマンスタイル 72kg 級に堀江耐志２等陸曹、同 87kg 級に角雅人３等陸曹、同 97kg 級に鶴田峻大３等陸曹、女子フリースタイル 72kg 級に古市雅子３等陸尉の６名が出場した。

Free style Woman 女子フリースタイル 72kg 古市 メダル獲得

大会５日目（14 日）、女子フリースタイル 72kg 級（五輪非階級）に出場した古市３尉は、初戦を難なく勝利し迎えた準々決勝では、ケンドラ・ダッチャー（フランス）と対戦し、同点で迎えた後半の終了間際にタックルを決めて４点を獲得し［8－4］で勝利した。準決勝ではアミット・エロー(アメリカ)と対戦し、試合終了まで残り 10 秒で１点差に詰め寄るも［2－3］と惜敗し、翌日の３位決定戦に臨んだ。大会６日目（15 日）の３位決定戦ではブセ・カブソグル・トスン（トルコ）と対戦し、試合開始から２分、積極的な攻めで２点を先取した。後半で同点に追いつかれたが、相手の反則で更に１点を獲得し［3－2］と接戦を制し、見事銅メダルを勝ち取った。

試合後、古市３尉は、「全試合で最初に自分がアクティビティ・タイム（消極的な選手に課せられる、ポイントを獲得する時間。30 秒間でポイントが成立しなかった場合、相手選手に１点が与えられる。）を貰ったので、前に出て崩しが攻めに繋がるように臨みました。準決勝で負けたことは悔しいですが、相手はこれまでに戦ったことのないタイプだったので、自分の中でこういった相手に対して自分のレスリングができるようにしていかないといけないと思いました。」と語り、68ｋｇ級のオリンピック階級に変更して臨む 12 月の天皇杯に向け「オリンピックの選考に絡んでくる重要な試合なので、しっかり準備をして全力で臨みたい。」と決意を述べた。

世界レスリング連盟 ロンドン 優勝の功績 UWW 小原 殿堂入り 栄誉

９月９日、レスリング班女子コーチの小原日登美３等陸佐がセルビア共和国（ベオグラード）において世界レスリング連盟（UWW）から 2022 殿堂入り選手に選出され授賞式に参加した。小原３佐は世界選手権優勝８回、2012 ロンドンオリンピック優勝の成果を評価され、他にはオリンピック３連覇の吉田沙保里氏、オリンピック４連覇の伊調馨氏が受賞した。

小原３佐には、パリオリンピックに向けた体育学校選手の指導・育成など、レスリングコーチとしての益々の活躍を期待したい。

世界レスリング連盟会長から表彰を受ける小原３佐

試合結果

氏名	階級	出身地	種目階級	結果
高谷　大地	2等陸尉	京都府	フリースタイル 74kg 級	3回戦敗退
古市　雅子	3等陸尉	熊本県	女子フリースタイル 72kg 級	銅メダル
山本　泰輝	2等陸曹	静岡県	フリースタイル 125kg 級	1回戦敗退
堀江　耐志	2等陸曹	和歌山県	グレコローマンスタイル 72kg 級	1回戦敗退
角　雅人	3等陸曹	佐賀県	グレコローマンスタイル 87kg 級	1回戦敗退
鶴田　峻大	3等陸曹	沖縄県	グレコローマンスタイル 97kg 級	1回戦敗退

自衛隊体育学校ホームページより引用